

魅せる!  
現場

現場を支える人々編

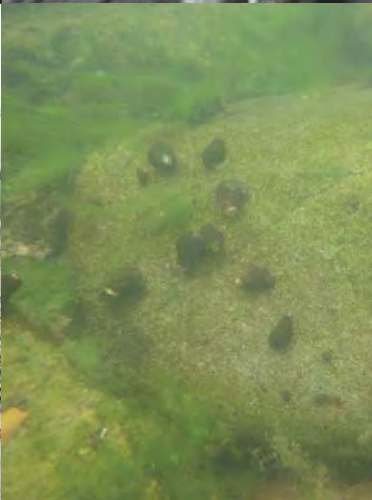
天ヶ瀬ダム再開発生物調査

開発は人の為だけに非ず。

天ヶ瀬ダムの再開発では、設計や建設など様々な専門分野の仕事人が働いています。今回はその中でも、再開発前後の宇治川の生物を調査する「天ヶ瀬ダム再開発生物調査」に携わっている若手社員の二人を紹介します。

# 開発と自然との

# 懸け橋に。



この仕事は私が入社1年目から携わっている思い入れのある仕事です。初めは、先輩の後にくっついて行くのが精一杯でしたが、夢中になって仕事に取組み、最後まで仕事をやり遂げた時の達成感は想像以上でした。今でもその時の気持ち忘れずに、日々の仕事に取り組んでいます。

現在の仕事での私の役割は、水生生物とその生息場について調べることです。水環境分野が専門ですが、宇治川の環境を守るためには陸上の動物や植物の情報も必要不可欠。経験豊富な先輩、専門家の先生などにも助言をもらい、知識の幅を広げながら仕事を進めています。

私たち建設コンサルタントの仕事の魅力は、人と自然がうまく共生する手助けができること。人と生き物が住みやすい環境を未来に残していくための答えを探していきます。難しいけれど、ワクワクできる、本当にやりがいのある仕事だと思っています。



林 宏樹 はやし ひろき

2013年入社 (30歳)  
大阪支店 環境部 技術第1課

仕事で思い悩んだときは、サッカーやハイキングなどで体を動かしてリフレッシュしています。

3	2	1
5	4	

- ◆ 写真
- 1 キツネ
- 2 ギンラン
- 3 カヤネズミの巣
- 4 ナカセコカワニナ
- 5 有識者との調査



◆写真  
カワセミ

小さい頃から生き物が好きで、その流れで大学では生物保全学を専門に学びました。この職業を選んだのは、ダムや道路などの開発は必要なものですが、開発によって環境が犠牲になるのではないかと、できるだけ影響を少なくできないか。大好きな生き物たちが生息環境を奪われる危機を招くようなことがないように、共生できるような環境づくりがしたいと考えたからです。

この仕事で初めて一部の調査の責任者を任せましたが、思っていた通りに進まないこともあります。例えば、台風等の天候の条件により予定通りに調査がで

きないなどです。このような場合、上司に相談し、調査の趣旨を何度も確認しながら調査計画の見直しを行っています。  
まだまだ修行中の身ですが、生き物のことが好きな方々と生き物を追っかけ、悩み、カタチにしていく仕事なので、いつも夢中で取り組んでいます。



大上戸 淳子 だいじょうご じゅんこ

2015年入社 (24歳)

大阪支店 環境部 技術第1課

山歩きやダイビングをプライベートでも行っているほど、自然が大好きです!

大好きな生き物たちを守る。



# 地球の未来をつくってる。

「自然や生き物が好きでこの業界に飛び込んできた二人。」「地球の未来をつくってやる。」という実感と責任をもって仕事に取り組んでいることを頼もしく、そして誇らしく思います。

今回のように多くの人が関わるプロジェクトでは困難も伴いますが、私たちも一緒に悩み、学びながら成長していけると思っています。若い人へ技術や知見が伝わり進化し続ける限り、未来はさらに輝くでしょう。



吉原 哲 よしはら さとる

1997年入社 (44歳)  
プロジェクトリーダー



大脇 哲生 おおわき てつお

1999年入社 (43歳)  
大阪支店 調査責任者

先輩後輩ながら切磋琢磨している場面をよく目にします。この調査は、日々地道な活動が求められますが困難な作業にもひたむきに、そしてモチベーション高く取り込む二人に、とても心強さを感じています。

将来の土木の現場を担う若手が、環境に対する思いや信念を持つて働いてくれているということは、今後の土木業界は素晴らしいものになると確信しています。

今回は天ヶ瀬ダム再開発トンネルゲート室部 本体他建設工事の鹿島建設株式会社が担当します。ご期待ください！